

9月9日は救急の日

救急医療週間 9月3日～9日

9月9日は「救急の日」です。北見地区消防組合消防署訓子府支署では、皆さんに救急業務の理解を深めていただき、応急手当ての普及・啓発を図る活動を行っています。

昨年の救急出動 228 件

訓子府支署では、迅速な出動など救急活動に全力を挙げていますが、119番通報を受けてから現場到着までの所要時間は平均で5.8分（訓子府町平成28年平均値）となっています。

年別救急出動状況	
平成24年	189件
平成25年	205件
平成26年	216件
平成27年	206件
平成28年	228件



◆こんな使い方はやめましょう◆

- ・救急車をタクシー代わりに利用する
- ・昼間は病院が混んでいるので、時間外に受診するために救急車を呼ぶ

北海道救急医療・広域災害情報システムの紹介

急病・けがなどで受診可能な医療機関をお探しのとき、救急医療情報案内センターが24時間体制で提供します。

※医療相談はしていません。

- ・全道どこからでも (☎ 0120-20-8699)
- ・携帯電話などから (☎ 011-221-8699)
- ・インターネットから

<http://www.qq.pref.hokkaido.jp>

hokkaido.jp



危険物取扱者試験準備講習会

- とき 9月26日(火)・27日(水)
- ところ 北見芸術文化ホール (北見市)
- 受付期間 9月19日(火)まで
- 問合せ 消防署訓子府支署

危険物取扱者・消防設備士試験

- とき 10月29日(日)
- ところ 北見工業大学 (北見市)
- 種類 両試験共通全種類
- 受付期間
 - ・書面申請 9月19日(火)～26日(火)
 - ・電子申請 9月16日(土)～23日(土)

大切な命を救うために



↑【救命の連鎖】事故現場などに居合わせた住民と救急隊員、そして医師の連携で命を救うことが「救命の連鎖」です。上の図左から3つの輪は住民が迅速に行うことを示し、右端の輪は救急から引き継いだ院内での処置を示しています。

全国版救急受信アプリ(Q助)の紹介

消防庁では、住民の皆さんが急な病気やけがをしたときに、医療機関を受診するタイミングや手段、利用できる医療機関および受診手段の情報を提供し、緊張度に応じた必要な対応を支援するためのアプリの提供を始めました。



普通救命講習 I を開催

- とき 9月5日(火)15時～18時
- ところ 訓子府消防庁舎
- 定員 20人
- ※申し込みの際、すでに定員の場合はご容赦願います。
- 申込み 消防署訓子府支署
職場や地域などでの応急手当、講習会についての問い合わせもお待ちしています。

「防災の日」9月1日 「防災週間」8月30日～9月5日

安全・安心なまちづくり もしものために、今できる備えを

7月16日に発生した集中豪雨では、境界の気象観測所で1時間降水量の最大が46mmと統計開始以来第1位を記録し、町内でも道路や河川、農作物などに大きな被害をもたらしました。災害はいつ起こるか分かりません。日ごろからの備えや地域の連携を強めることで、被害を最小限に抑えることができます。防災の日には、家庭や職場で災害の備えを確認しましょう。

7月16日に被災した西33号線(駒里)

日ごろの備えと地域の連携で減災を

日ごろからの備えを

近年、全国各地で大規模な自然災害が頻発に発生しています。訓子府町でも、昨年8月に北海道を襲った三つの台風による大雨で、大きな被害をもたらしました。災害による被害を防ぐためには、日ごろからの備えが重要となります。平常時は、非常食や懐中電灯などの非常時持出品を備えるとともに、避難場所や避難経路、河川や道路などの危険箇所を把握し、確認しておくことが大切です。災害時においては、情報を待つのではなく、自発的に収集することが、迅速な避難行動を可能にし、被害の軽減につながります。また、自らの判断で避難行動をとることも大切で、身の危険を感じたら、ためらうことなく自主的に避難行動をとるとともに、隣近所にも声をかけましょう。

地域を守る自主防災組織

自主防災組織は、災害から自分たちの地域は自分たちで守ろうという「地域ぐるみの協力体制」のことを言います。災害時は、役場などの防災機関と連携して、情報収集や避難の誘導、避難所の運営などを行います。また、平常時は防災知識の普及や防災訓練を実施するなど、いざというときに備えます。現在、3町内会会で組織が設立され、他の自治会でも設立が検討されています。

日常の備え確認を

- 日常の備え
 - ①非常食や懐中電灯など非常時持出品の点検をする
 - ②三日分程度の食料・飲料水を備える
 - ③家の内外で危険な場所がないか確認しておく
 - ④防災ガイドマップで災害時の避難経路、避難場所を家族で確認しておく
- 災害時の対応
 - ①正確な情報収集し「早めの行動をとる
 - ②避難の呼びかけに注意する
 - ③動きやすい格好、二人以上で避難する
 - ④車での避難は控える
 - ⑤道路や堤防などに車を放置しない

9月1日(金) 午前10時

シェイクアウト訓練を実施します

町では、9月1日(金)午前10時に約1分間、消防サイレンを合図に地震を想定したシェイクアウト訓練(安全行動訓練)を町内一斉に行います。サイレンが聞こえたら、それぞれの家庭や職場で机の下に隠れるなどの安全行動訓練を実施し、防災対策の確認をしましょう。また、合わせて防災用品などの持出品の点検なども行いましょう。